

第21回「口から食いたい」講演会のご案内

今回も保育
あり。

メインテーマ 「安全に食べるには」

伊予歯科医師会 会長 西本 公紀
松 前 町 町長 岡本 靖

謹啓

秋涼の候、貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、来る10月22日(日)に恒例の第21回「口から食いたい」講演会を開催いたしますのでご案内申し上げます(伊予歯科医師会主催)。

今回のテーマは「安全に食べるには」です。本会はさまざまな障がいでも口から食べることが困難になった人の「口から食いたい」という思いにどう応え、どう支えるかを考える勉強会です。病院から施設や在宅へのシームレスな連携が叫ばれ、また昨今では在宅ケアを中心に据えた地域包括ケアが提唱されています。病院ではNST(栄養サポートチーム)が、施設ではミールラウンドが推奨され、栄養を踏まえた口から食べるための支援が急務となっております。今回は、安全に食べるにはどうすればよいかを、経験豊富な二方の先生にお話していただきます。

午前の部の講師は、TOUCH 代表理事で大阪大学での摂食嚥下の臨床・研究成果を広く一般に還元する活動が続けられている舘村卓先生。食事困難になった方に、口の機能を賦活させながら安全に食べていただくにはどうすればよいか、3つの視点からお話しいただきます。

午後の部は、奥州市国保衣川歯科診療所前所長で、急性期病院でのNSTや介護施設でのミールラウンドに詳しい佐々木勝忠先生。栄養という切り口から認知症への対応を含め、症例を通して口腔機能の重要性を説いていただきます。

講演後のディスカッションでは、難症例の義歯を通じて、多職種連携を包括的に議論できればと思っております。

今回も、職種を超えた多くの方々の参加をお待ちしております。

敬白

第21回「口から食べたい」講演会申し込みのご案内

メインテーマ 「安全に食べるには」

日 時：平成 29 年 10 月 22 日(日) 9:30～16:00 9:00 開場・受付開始

会 場：松前町総合文化センター（松前町役場東隣 TEL089－985－1313）

問い合わせ先 TEL：089-984-0005(升田歯科)

演題 1「3つのキーフレーズで考える摂食嚥下障害への対応」(9:45～11:45)

講師：一般社団法人 TOUCH 代表理事 舘村 卓 先生

昼休み (12:00～13:30)

演題 2「医科歯科連携で歯科ができること」(13:30～15:30)

講師：奥州市国保衣川歯科診療所 佐々木 勝忠 先生

ディスカッション 義歯を通して多職種連携を考える (15:30～16:00)

受講料：1,000 円（当日受付の場合 1,500 円）

* 昼食は各自でご用意してください。エミフルまで歩いていただけます。講演会専用駐車場はありませんが隣のエミフル MASAKI に講演会参加での駐車は了解済みです。

主催：伊予歯科医師会

共催：松前町、日本老年歯科医学会

後援：愛媛県、愛媛県社会福祉協議会、松前町社会福祉協議会、愛媛県歯科医師会、
愛媛県歯科衛生士会、愛媛県看護協会、愛媛県老人福祉施設協議会、愛媛県理学療法士会、
愛媛県作業療法士会、愛媛県言語聴覚士会、愛媛県社会福祉士会、
愛媛県医療ソーシャルワーカー協会、愛媛県介護福祉士会（以上、後援申請中）

申し込み方法

別紙の申込用紙に振替領収書を添付し、FAX にてお申し込み下さい。

振込先:郵便振替 01600-1-12261 「口から食べたい」実行委員会 宛

受講料を上記口座にお振込みの上、振替領収書（または写し）を貼付した **FAX 申し込み専用紙** にて、住所・氏名・職業・電話番号等を明記して下記までお申し込み下さい。

申し込み先 FAX：089-984-0195 問い合わせ先 TEL：089-984-0005(升田歯科) 定員：699

名（申し込み順）

申込締切：10月14日

なお、お申し込みが揃った段階で受講票を発送します。住所は間違いなく記載してください。同じ所属で複数でお申し込みの際は、住所は勤務先に統一して下さい。受講票の発送は締切以降です。

保育（無料）の申し込み：松前町ファミリーサポートセンターに委託しております。対象は6ヶ月から小学校3年生まで。申し込み締め切りは10月7日まででお願いします。保育希望の方は、申し込み時に年齢・名前・携帯番号・注意など別紙に記入して頂き、別に FAX してください。後日、当方より連絡させていただきます。

講師紹介

舘村 卓(たちむら たかし) 先生

元大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 准教授。

臨床及び研究を通じて得られた見地を、広く社会に還元することを目的とする

一般社団法人『TOUCH』理事長。また、日本摂食嚥下リハビリテーション学会の評議員でもある。

主な著書に「摂食嚥下障害のキュアとケア」、「摂食嚥下リハビリテーション」や「神経・筋疾患・摂食障害とのおつきあい」など多数。

東北大学大学院非常勤講師、徳島大学大学院非常勤講師、岡山大学歯学部非常勤講師、奈良県立医科大学非常勤講師、京都光華女子大学招聘教授、(社)日本口腔外科学会専門医・指導医、日本顎顔面補綴学会専門医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会 評議員、日本顎口腔機能学会 評議員、日本顎顔面補綴学会 理事、全国老人保健施設協会 施設運営部会委員、日本リハビリテーション病院施設協会 口腔ケア委員

著書：

臨床の口腔生理学に基づく摂食・嚥下障害のキュアとケア 医歯薬出版- 2009/7/1

口蓋帆・咽頭閉鎖不全その病理・診断・治療 医歯薬出版 - 2012/1/1

生活参加を支援する 口腔ケアプログラムの作り方 永末書店- 2016/9/13

神経筋疾患 摂食嚥下障害とのおつきあい 共著(全日本病院出版会) 2007/9

摂食嚥下リハビリテーション 共著(医歯薬出版) 2016/9 等

佐々木 勝忠(ささき かつただ) 先生

奥州市国保衣川歯科診療所前所長

10年ほど前から急性期病院のNST(栄養サポートチーム)回診に参加。栄養評価の重要性に着眼。介護施設でもミールラウンドを実践。口から食べることの重要性を啓発し続けてきた。

現在、週2〜3日衣川歯科診療所で歯科診療、毎週1回夕方国保総合水沢病院で入院患者の口腔回診、月2日西和賀町立西和賀さわうち病院で病棟回診・特養回診・歯科診療、月2日開業歯科医院で訪問歯科診療、他自宅での農作業に従事

岩手医科大学歯学部非常勤講師、岩手県歯科医師会嘱託研究員

著書：

「予防歯科・成功への道」共著 デンタルダイヤモンド社 2001

「医療連携による在宅歯科診療」共著 ヒョウロン 2008.5

「地域リハビリテーション」共著 Vol.3、No.8、2008.8

「地域医療の新たな展開」共著 8020財団 2009.10

「健康寿命を延ばす歯科保健医療」共著 医歯薬出版 2009.11

「歯科に関わる診療報酬・介護保険改定を考える」共著 ヒョウロン
2017.10(月刊『日本歯科評論』特集号発刊予定)